

オードリー・ヘプバーンが
愛される7つの理由

受け継いだ気品 = エレガンス

うわべでは取り繕えない優雅さと
自分を高めていこうとする姿勢



最初の夫メル・フェラーと出席した
パーティーでも光り輝くよう

エレガンスとは、一朝一夕に培われるもの
ではない。日々の努力もさることながら、持
って生まれた性質によることが多いから。オ
ードリー・ヘプバーンも然り。アイルランド
系イギリス人のダンディズム(父親)と、オラ
ンダ王家直系貴族の誇り(母親)を受け継ぎ、
1920～30年代にかけてヨーロッパ文化の発
信地として栄えたベルギー、ブリュッセルの
空気が一歩に育ち、育ち、育ち、育ち、育ち、
が、彼女の優美＝オードリー・ヘプバーン、
人間＝オードリー・ヘプバーンの優雅さを
エンツになったと言ふ。

「親しみ、自分の見出し、」を
抱まぬ努力で開花させていこうとする、一
途な姿勢が、生来の優雅さに生命力を与えて、
スクリーンで演じた数々のシンデレラ・スト
ーリーを、彼女ならではのリアリティのある
世界に作り替えていったオードリー。そして、
役柄を離れてパーティーやセレモニーに出席
した時や、プライベートでの行動をキャッチ
された時ですら、彼女は常に、隠しようのない
エレガンスを漂わせて周囲を圧倒し続けた。
うわべでは取り繕うことが出来ない気品、自
分を高めていこうとする姿勢……オードリー
が愛され続ける謎の一つはそこにあることを、
ここでもう一度確認しておこう。



出番を緊張した面持ちで待つオードリー

sample